

このたび当館では、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館より貴重なコレクションをお借りして、日本の近現代彫刻を紹介する企画展を開催します。

同館のコレクションは、大別すると、中原悌二郎と中原に影響を与えたロダン、萩原守衛らその周辺の近代彫刻、1970年に旭川市が創設した「中原悌二郎賞」の受賞作家による現代彫刻、そして、旭川ゆかりの彫刻家の彫刻作品という3本の柱によって構成されており、日本の近現代彫刻の流れを一望できる内容となっています。

1994年の開館以来、建物として使用されてきた「旧旭川偕行社」の大規模改修工事を機に、そのコレクションを一堂に紹介する本展は、ロダンの影響により内なる生命の表現を追求した日本の近代彫刻をはじめ、戦後、多彩な造形表現を展開してきた日本の現代彫刻を展観するものです。

この機会に、日本近現代彫刻の名品の数々が織りなす美と、その精華をご堪能ください。

#### 関連イベント

##### 記念講演会「旭川 彫刻ものがたり」 **要申込**

旭川市彫刻美術館関係者を講師にお招きし、同館の取り組みや本展出品作品について画像を交えてお話いただきます。

4月25日(土) 13:30-15:00

会場：研修室A 定員：80名(定員になり次第締切)

受付期間：4/1(水)-4/24(金)

##### 子どもギャラリートワー

4月29日(水・祝)、5月3日(日・祝)、5月4日(月・祝)、

5月5日(火・祝) 各回10:30-11:00

##### ギャラリートーク

4月29日(水・祝)、5月3日(日・祝)、5月4日(月・祝)、

5月17日(日)、5月31日(日) 各回13:30-14:00

##### 親子彫刻教室「木の枝×ブリキ」でアート!」 **要申込**

5月16日(土) 10:00-15:00

講師：藤井忠行(彫刻家) 会場：研修室A

対象：小学生以上の親子 定員：15組(定員になり次第締切)

受付期間：5/1(金)-5/14(木)

##### スペシャルガイドツアー

当館学芸員と特別ゲストによる掛け合い解説ツアー。

6月14日(日) 10:30-11:00、13:30-14:00

##### オープンアトリエ「らくがきはんこ」で絵を描こう!

かべに貼られた模造紙にスタンプを使って絵を描きましょう。

会場：第3展示室

※ **要申込** の表示のあるイベントのお申込先は、美術博物館/TEL0144-35-2550となります。

※各イベントへの参加料はすべて無料ですが、展示室にご入場いただくイベントについては、

当日有効の観覧券(高校生以上)が必要となります(ただし、5/5の無料観覧日を除く)。

※イベントの内容は変更する可能性があります。

詳細については、直接お問い合わせいただくか、当館HPをご覧ください。



#### アクセス

##### ●公共交通

JR苫小牧駅前バスターミナルより市内路線バス「13番」「21番」「23番」に乗り、「文化公園」で下車(所要時間約5分、料金210円)徒歩約5分

##### ●自家用車

国道276号線と国道36号線の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり交差点の次の信号を右折 ※駐車場：市民文化公園内(70台)



1



2



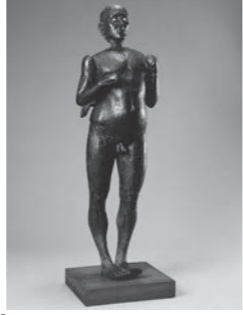
3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24

#### 特別出品

##### 寺田 榮(てらだ・さかえ)

1949年、福岡県小倉市(現・北九州市)生まれ、旭川市在住。1975年、東京藝術大学大学院彫刻専攻修了、東京藝術大学研究生終了。1995年、北海道教育大学旭川校教授(2015年退官)。2005年、第34回中原悌二郎賞優秀賞受賞。一貫して「彫刻と風景との調和」を目指しながら石彫制作に取り組んでいる。近年は触れるという視点から、表面に刻まれた条溝によって触覚を誘発する作品により高い評価を得ている。



《あきつしま》2007年 作家蔵

#### 掲載図版

- 1 A・ロダン《ジャン・テールの裸体習作》1886-89年頃
- 2 萩原守衛《坑夫》1907年
- 3 掛井五郎《バンザイ・ヒル》1976年
- 4 木内克《婦人誕生》1970年
- 5 中原悌二郎《若きカフカス人》1919年
- 6 細川宗英《道元》1972年
- 7 吉田芳夫《白道》1976年
- 8 笹戸千津子《若き立像'86》1986年
- 9 雨宮敬子《生成》1983年
- 10 舟越保武《原の城》1971年
- 11 佐藤忠良《カンカン帽》1975年
- 12 桜井祐一《レダ》1976年
- 13 岩野勇三《なほ》1983年
- 14 今村源《2008-10 タイプIV》2008年
- 15 池田宗弘《一番近くの巨人に突っこんだ》1983-87年
- 16 舟越桂《そこだけの冬》1997年
- 17 保井智貴《untitled》2004年
- 18 小泉俊己《水脈(図法-1)》2010年
- 19 澄川喜一《そりとそぎのあるかたち》1980年
- 20 鈴木実《妻の肖像》1979年
- 21 土谷武《植物空間Ⅲ》1989年
- 22 向井良吉《GARONNEの旅から》1984年
- 23 深井隆《逃れゆく思念》1989年
- 24 鈴木久雄《距離群》2002年
- 25 山本正道《秋》1976年
- 26 篠田守男《TC6111》1992年



らくがきはんこ ©tek

#### 同時期開催

##### 中庭展示 -Court Installation- Vol.05 藤井忠行

##### 個と連なりとーモノダの記しに

木という素材との対話による造形を展開する旭川出身の彫刻家・藤井忠行(ふじい・ただゆき)のインスタレーションを紹介します。

5月2日(土)-9月6日(日)



《しずかな連記Ⅲ》2013年 作家蔵

※1 モノダ：実在を構成する究極の要素、単子(ライプニッツの単子論)。

※2 インスタレーション：作品単体ではなく、展示空間そのものを作品として提示する表現手法。

#### 次回開催企画展

##### こどもとおとなのミュージアム 地底旅行ー地下資源をめぐる科学と美術の旅

7月4日(土)-9月6日(日)

Tomakomai City Museum あみゆー

## 苫小牧市美術博物館

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9-7

Tel 0144-35-2550 / Fax 0144-34-0408

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/